

# 多岐新報

社開新登常所行發  
九五町南町平縣島福  
次 藤 廣 伊 人 行 發  
一 港 古 町 濱 名 小 縣 島 福

刊夕日七十二月六  
一ヶ月 三十錢  
一 部 二 錢  
廣告料 一行五十錢  
場所指定 十錢増  
日曜祭日翌日休刊

## 會長の指名で 評議員八名決定す

### けふ郡農會臨時總會

會長副會長は重任

石城郡農會臨時總會は、今實を是認して午後六時余、廿七日午前十時より平町會館の取調を完了したが、次の開休事務所樓上で開かれた公判は七月二日午前十時が、議員三名全部出席、先づ會長副會長の選舉は投票をなす満場一致で會長に諸橋久太郎氏（平）副會長に菅清貞氏（福田）を推した。次で評議員は諸橋會長の指名により左の如く決定十一時より谷口樓で懇親會を催した。

上遠野定次郎（泉）大平陸四郎（勿來）金成淺治（好間）木村清治（大浦）伊藤淺之助（飯野）小野晋平（小名濱）野崎滿藏（玉川）草野常彌（平窪）

## 來月の公判は 來月二日

### 植田殿込の事件

（昨報）廿六日午前十時半から平支部で開かれた植田殿込事件は被告すべてが捜査に努めたが皆目利らず當時の事情を包み隠すことゝなぐんでゐた折柄東京府警に申し立て、犯罪の事なく似た女がある入電に

## けふ平町會 戸數割賦課は 委員附託

特別戸數割賦課決定の平町會は、今二十七日午前十時半より町役場事務室で開かれたが、戸數割の方は委員附託となり、零時半散會した。

## 逃走酌婦 捕はる

三春屋のトシ子  
東京の真中で  
去る六月二十日午後九時頃小名濱町料理店三春屋方面で、

抱へ酌婦トシ子（三）は活動見に行くと稱して姿をくらまし料理店組合を擧げて捜査に努めたが皆目利らず當時の事情を包み隠すことゝなぐんでゐた折柄東京府警に申し立て、犯罪の事なく似た女がある入電に

## 警女生に 軽快な夏帽

警女生はこれからは暑さに向ひパナールをさすこと、生徒の活潑をそぐといふので、來月一日から一齊にマニラ麻製の涼しい白帽を冠せらるることになった。

## 四倉 蘭市場 廿八日閉鎖と決定

### 出荷激減

四倉蘭市場は、十五日しく出来上つた川部の四時開場、當時は四圓高の蘭川橋は來る廿八日午前十時、發賣家を有預天にさせた渡り初めを行ふが十一時が其の後次第に下落、昨日は同村劇場で盛大な祝賀の白蘭相場は安値二圓八十會を開く由。

## 明日渡り初め 四時川橋

町村を荒し廻つた窃盜犯、橋玉縣生れ前科二犯右田久治（三）にかゝる公判は昨廿六日午前九時から平支部で開かれたが、求刑通り懲役二年の判決を下された。

## 晝は下駄屋の徒弟 夜は現金専門の賊 平生れの不敵な少年 遂に捕縛さる

双葉郡廣野村大字折木下番の結果、被疑者として大駱南吉田菊平の徒弟遠藤政字走熊崎盛（假名）が二十雄（二）假名は去る廿一日夜四日拘引されたが、其裡面に同村長谷川政一方に忍び込は有力者の同類あるらしく、多額の中時計（價格十三圓）と彼等は計畫的なる模様である。現金十圓を盗んだこと發覺せられた。

突然暗がりから  
ヒール塚の  
内郷村宮、磐城炭礦坑夫、更湯本町の裏通りを通行中、暗がりから怪瀧廻り出で、ヒール塚で頭部を打たれ、犯人は其の場に昏倒、平署で搜索の結果この怪瀧仲町時計店神谷源伍方で客の混雜中レコード五枚（價二（三）と判明發覺したが、格四圓を萬引して逃走し、二少年あり四倉署の刑事が追跡取りおさへたが、これは雙葉郡廣野村上北迫、農山岡功（三）並に第三男（二）何れも假名と判明した。

## 兄弟で レコード盗み

去る廿四日夕刻、四倉町仲町時計店神谷源伍方で客の混雜中レコード五枚（價二（三）と判明發覺したが、格四圓を萬引して逃走し、二少年あり四倉署の刑事が追跡取りおさへたが、これは雙葉郡廣野村上北迫、農山岡功（三）並に第三男（二）何れも假名と判明した。

## 被疑者あがる 材料泥棒

平町に支店を有し平町を中本村として各所に出張所を有し、正業の爲めには吾が年と共に圓熟の度が加はり、無盡なる正義の一本槍、故來の出色は漁業組合中之作、如何なる強直のものも正用張所の創始者として十二、幾の威力には勝てず降魔す分の努力の跡を見せ、る反面人情にはもろく情の。

## 顛覆連轉手 遂に絶命

昨二十六日トラックを操縦中、中内郷村で轉覆重傷を負つた小名濱町連轉手鈴木吉吉君は、平町上田病院で午前二時遂に死亡した。

小名濱 魚市場調査  
魚名 魚價高 單價割  
タイ 四〇〇貫 廿一廿五  
サバ 二五〇貫 廿四七  
カワラ 一〇〇貫 廿四七  
ノドコ 九五貫 廿四七  
ガラ 二〇貫 廿四七  
アラ 二〇貫 廿四七  
入港數  
カツサ船 一九  
カニコ船 七  
大船船 七

## 街の噂

平町に支店を有し平町を中本村として各所に出張所を有し、正業の爲めには吾が年と共に圓熟の度が加はり、無盡なる正義の一本槍、故來の出色は漁業組合中之作、如何なる強直のものも正用張所の創始者として十二、幾の威力には勝てず降魔す分の努力の跡を見せ、る反面人情にはもろく情の。

平町に支店を有し平町を中本村として各所に出張所を有し、正業の爲めには吾が年と共に圓熟の度が加はり、無盡なる正義の一本槍、故來の出色は漁業組合中之作、如何なる強直のものも正用張所の創始者として十二、幾の威力には勝てず降魔す分の努力の跡を見せ、る反面人情にはもろく情の。

吉田傳松氏 (18)

